



地域医療連携をサポートする

HMネット に参加しましょう!



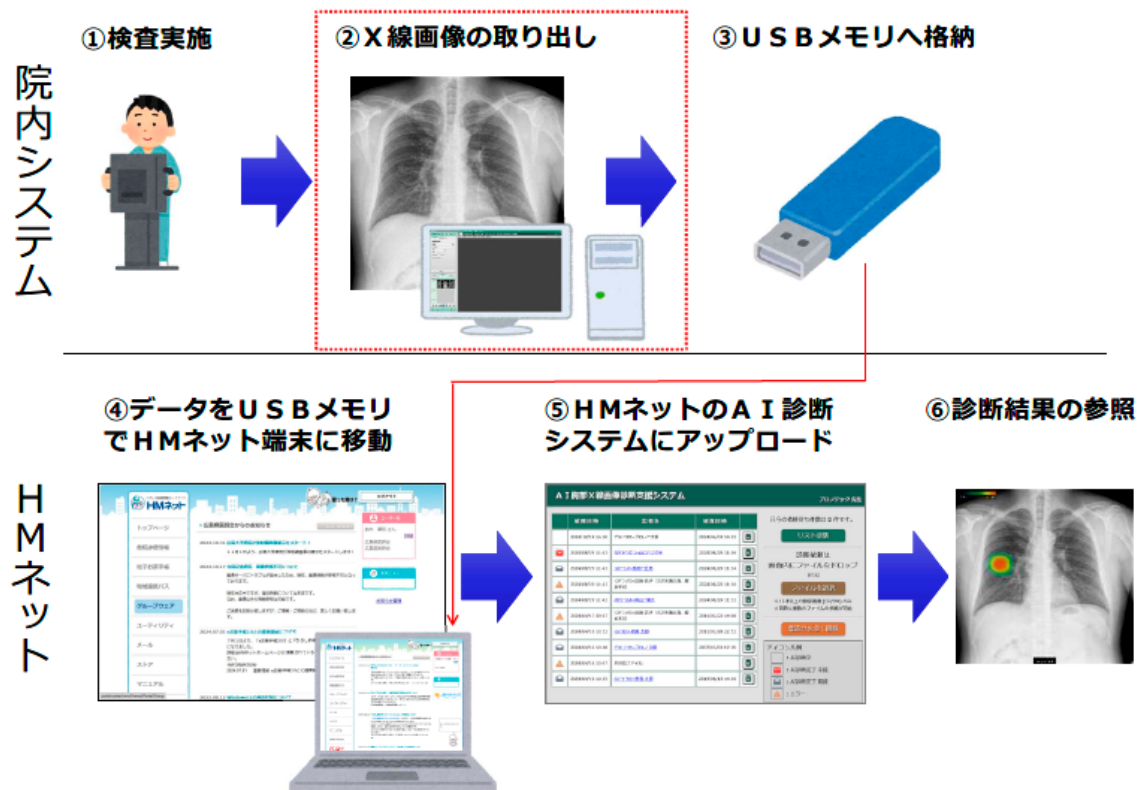
ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）は広島県と広島県医師会が構築し運営を行っているICTを利用した医療連携ネットワークです。患者の診療情報や調剤情報を医療機関で共有することにより適切で切れ目のない医療や介護の提供をサポートします。

AI胸部X線画像診断支援システムの試験運用開始について

HMネットでは11月13日(水)にAI技術を活用した胸部X線画像診断支援システムを導入しました。本システムは呉地域のHMネット参加医療機関向けに先行リリースを行い、サーバへの負荷やシステムの利便性を確認した上で、他の地域に展開する計画としています。

AI技術を活用した胸部X線画像病変検出ソフトウェアは富士フイルムメディカルの「CXR-AID」を利用しています。「CXR-AID」は胸部単純X線画像から結節・腫瘍影、浸潤影、気胸が疑われる領域を検出し医師の画像診断を支援するソフトウェアです。「ヒートマップ表示機能」、「スコア表示機能」で3つの対象所見を検出し、その領域を医師が再確認することで見落とし防止を支援し、医師の負担軽減に貢献します。

【運用フロー】



AI胸部X線画像診断支援システム説明会(呉市医師会向け)の実施報告について

11月25日(月)にHMネットのAI胸部X線画像診断支援システムの説明会を呉市医師会館講堂(Web併用)で開催しました。説明会ではシステムの利用メリットや解析可能な画像所見、画像の条件等を説明しました。合わせて画像検査システムから画像を取り出す方法とAI画像診断支援システムへの画像のアップロード方法について説明しました。その後、質疑応答を行いました。以下は質疑応答の一部となります。

【質疑応答】

質問：AI胸部X線画像診断システムは診療情報開示病院でなくても利用は可能か。

回答：HMネットに参加している医療機関であれば開示病院でなくても利用可能である。

質問：システムは24時間稼働か。夜間に複数枚を依頼した場合、翌朝には終わっているか。

回答：24時間稼働である。1枚あたり余裕をみても30～60秒以内で解析が完了であるため、枚数にもよるが基本的には翌朝には結果を参照することができる。

質問：HMネットの利用料(3,500円/月)で利用可能か。追加費用は発生するか。

回答：現時点ではHMネットの利用料のみで利用可能であり、追加費用は発生しない。ただし、利用状況によっては将来的に従量課金制とする可能性もある。



【AI胸部X線画像診断支援システム 説明会の様子】

ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)個別訪問説明の実施について

HMネットは参加・利用を促進するために医療機関を訪問し、事業概要や操作方法等を説明させていただきます。HMネットへの参加を希望される医療機関、HMネットに既に参加しているが操作方法の説明を希望される医療機関につきましては、必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申し込みくださいようお願い致します。

【お問い合わせ】

〒732-0057 広島市東区二葉の里3-2-3 広島県医師会 HMネット推進課

TEL：082-568-1511 FAX：082-568-2112 E-mail：hm-net@hiroshima.med.or.jp

ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット) 個別訪問説明申込書

広島県医師会 HMネット推進課 宛 FAX：082-568-2112

所属医療機関	
ご担当者名	
連絡先	〒 (TEL： — —)